

# AMDA

## 多様性の共存

# ジャーナル

2017年4月25日 VOL.40 第281号 定価550円  
 発行/AMDA 〒700-0013 岡山市北区伊福町3-31-1  
 TEL 086-252-7700 FAX 086-252-7717  
 E-mail:member@amda.or.jp  
 郵便振替:01250-2-40709 □口座名:特定非営利活動法人アムダ

2017年  
春号

春

救える命があればどこへでも

## 「相互扶助ミッション宣言」を採択

### AMDA インターナショナルアジア地域支部長会議

認定 特定非営利活動法人アムダ (AMDA)  
<http://amda.or.jp/>  
 認定 特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構  
<http://www.amda-minds.org/>  
 特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター  
<http://amda-imic.com/>  
 AMDA 兵庫  
<http://amda-hyogo.com/>



AMDA インターナショナルアジア地域支部長会議の参加者ら

2016年12月1日から2日間の日程で、AMDA インターナショナルアジア地域支部長会議がマレーシアの首都クアラルンプールで開催されました。会議には12ヶ国から29名の支部長と関係者が出席。AMDAの世界に広がるネットワークをさらに拡大する「相互扶助ミッション宣言」を全会一致で採択しました。

具体的には「世界平和パートナーシップ (GPSP)」「南海トラフ災害対応プラットフォーム」「アジア災害ネッ

トワーク」「トリプル A パートナーシップ・プログラム (TAPP)」の四つのプログラムです。いずれも“開かれた相互扶助”の精神を体現した取り組みで、今後のアムダの活動の中核をなすものです。会議では菅波茂代表が「より多くの団体と協力できれば、より多くの人のお役に立つことができる」と強調しました。

#### ◆ 世界平和パートナーシップ (GPSP)

人道支援における AMDA の新しい総合事業。「開かれた相互扶助」、「パートナーシップ」、「ローカルイニシアチブ」という3つのコンセプトの下、これに賛同するプロジェクト実施パートナーと支援者が一丸となり持続可能で平和な社会を実現していくための包括的枠組みです。AMDA の30年間に及ぶ経験を集積した構想であり、将来の指針となるものです。

#### ◆ アジア災害ネットワーク

災害発生時に重要な役割を果たすもう一つの枠組みです。菅波代表は、政府、NGO、医師会が持つそれぞれの強みについて言及し、この三つの組織がそれぞれ連携していくことこそ、発災時の円滑な救援活動を可能にすると述べました。

#### ◆ 南海トラフ災害対応プラットフォーム

今後数年以内に高い確率で発生することが予想されている南海トラフ大地震に備えた組織。今回、菅波代表はこの災害に備え、AMDA 本部が各地方自治体や医療機関と緊密に連携を図っていることを説明しました。

#### ◆ トリプル A パートナーシップ・プログラム (TAPP)

トリプル A とは、AMDA、AMSA (アジア医学生連絡協議会)、AMSA Alumni Club (AMSA OB 会) を指します。AMDA の人道支援分野でこれまで蓄積した知識と技術、経験を次世代に引き継いでいくことを目的とし、三つの組織が連携することで医学を志す若者に、人道支援に携わる機会を与え、実学の機会を提供していきます。

### 熊本地震から約1年 児童ら元気に巣立つ

熊本地震から約1年。発災直後から AMDA が活動していた熊本県益城町の広安小学校で3月23日、卒業式が行われ、児童108人が元気に巣立ちました。

式典会場の体育館は地震直後、歪んだ床の上に全国各地からの支援物資が山積みとなり、5月の連休あけの学校再開から8月中旬までは、段ボールベットが敷き詰められた避難所となりました。AMDA のメンバーも前震(4月14日)の翌日から体育館避難所閉鎖まで、避難されていた方々のための医療支援活動を行いました。

### AMDA が活動していた広安小学校で卒業式

当初から田中校長先生は「今の六年生を絶対この体育館で送り出してやりたか!」とおっしゃっていましたが、真新しいピカピカの床の体育館での卒業式がなかったのです。校長先生は「全国から支援をうけ、人と人が心をつなげて支え合う事がどんなに大きな力となるか、君たちは身を持って体験した。さあ次は、君たちの番。周りの人と心をつなげながら誰かのために尽くし、困っている人を一生懸命支えることのできる、そんな人になってほしい」とはなむけの言葉をおくりました。

## 東日本大震災から6年

マグニチュード9.0の大地震が発生、津波による甚大な被害をもたらした東日本大震災。国民にとって忘れられない「3.11」から6年が経過しました。いまだ復興途上の中、AMDAは第3次3カ年計画をはじめ、息の長い支援を続けていきます。

### 第14回復興グルメF-1大会 in 南三陸町が開催されました！

3月26日、宮城県南三陸町を会場に第14回復興グルメF-1大会が開催されました。岡山からはボランティア



ボランティアさんも大活躍でした

アバスで、中学3年から60代後半まで39人(スタッフ含む)が前日、当日のお手伝いをしました。

本設商店街として3月3日にオープンした「さんさん商店街」の周辺でも、多くのクレーン車や盛り土の山々が点在し南三陸町の勢いを感じました。

第14回大会のグランプリはチーム南相馬のりゅうぐう蛸焼が獲得しました。

### 東日本大震災 RNN 慰霊祭

RNN(人道援助宗教NGOネットワーク)様が2012年から毎年執り行っている「東日本大震災 RNN 慰霊祭」に、AMDA職員が今年も参列させていただきました。

3月11日14時46分、東日本大震災から6年を迎えたその時間に東に向かってお祈りをささげました。RNN様は地震発生直後1カ月間にわたり、AMDAの活動に対する街頭募金を行い、さらにメンバーの一人は調整員として大槌町での支援活動に参加してくださいました。



地震発生時刻に厳かに祈りをささげる参拝者

### 被災地を「米」で支える

被災地では震災後やむを得ず路上で生活する方がいます。AMDAでは、2013年度から炊き出しのためのお米を現地に送る活動を始め、2016年度もNPO法人仙台夜回りグループへ支援米を送りました。この活動に賛同いただいた、岡山県内や福山市の個人農家や農業



仙台夜回りグループによる炊き出しの様子

高校の方から、お米を提供いただいています。

仙台夜回りグループは、週3.4回の炊き出し、食事会、夜回りなどで定食やおにぎりを提供し、路上生活者・生活困窮者の生命を繋いでいます。

さらにセミナーを実施し、その方々が住居を定めて職業訓練を受け、安定した職種への転換を図ることを勧める活動をしています。

被災して経済的・精神的にハンディを負った方々が元通りの生活を取り戻すには、まだ時間が必要であると感じます。

### AMDA 東日本国際奨学金

東日本のこれからの復興を担う世代への支援として、「AMDA 東日本国際奨学金」を2011年度から支給しています。これは将来医療従事者を目指す被災地の学生らを対象に年間18万円を支給するもので、返済の必要はありません。岩手県にお住まいの高校生の作文をご紹介します。

私が看護師を目指そうと思ったきっかけは、東日本大震災です。震災時、私は小学六年生で学校にいました。急な地鳴りが聞こえてすぐに大きな揺れがきました。その後、私たちの町は津波に襲われ、大切な人や宝物・町までをも一瞬で奪っていきました。

私は、負傷し出血している人が医師不足のため未処置のままであったり、精神的に辛い人たちをたくさん見てきましたが、私は知識もなく何も出来ず、今置かれた状況で生きていくので精一杯でした。しかし、看

護師さん達は違いました。自分も被災し大変な中、被災者の心のケアを行ったり、治療をしたり自分より人を優先しているのを見て私は感動し、私も知識があったらもっと役に立つことができ、助けることができるのかなと思い、その時看護師になろうと心に強く決めました。

看護師になったら、どんな場でも役立つ知識を身につけ患者の心に寄り添うことのできる、そして人から憧れられる看護師になりたいです。また、同じような事が起きた時などには、必ず被災地に向かい自分の出来る限りの力でたくさんの人の役に立ち、深い傷を少しでも癒していきたいです。それが、同じ思いをした私の役割でもあると思います。看護師になったら一生懸命頑張りたいと思っています。

(岩手県・高校生女子)

## 「東北の新月」上映会と AMDA 大槌健康サポートセンター長 佐々木鍼灸師の報告会



日系3世のカナダ人監督で弁護士のリンダ・オオハマさんが東日本大震災の被災地でボランティア活動を通して出会った人々との交流をまとめたドキュメンタリー映画「東北の新月」の上映会と、映画にも登場した

AMDA 大槌健康サポートセンター長の佐々木賀奈子鍼灸師の報告会が2月17日、オルガホール岡山で開かれました。

リンダ監督は東日本大震災後、単独来日し、地元の方々と交流しながら約2年間、ボランティアに従事。震災を風化させてはならないとの思いから今回の映画を制作しました。佐々木鍼灸師は岩手県大槌町在住。震災で自宅兼鍼灸院が全壊し、自身も津波にのみ込まれ奇跡的に助かった経験を持っています。報告会では、大槌町の現状や、大槌健康サポートセンターで取り組む地域のコミュニティ活性事業などについて話しました。

さらに「震災で崩れたコミュニティを取り戻すことが必要。大槌町も人を思いやる気持ちが徐々に戻ってきていることを実感している」としたうえで、「皆様から一方的に支援していただくのではなく、万一の際は皆様にも恩返しをしたい」と述べました。

上映会と報告会はAMDAが主催、おかやまコープが共催。午前と午後の2回催され、約100人が入場しました。

## フォーラム「東北三陸沿岸地域から学ぶ 南海トラフ地震への備え」を開催しました

東日本大震災の被災地の方々による津波の経験と教訓から、南海トラフ地震津波への備えを考えるAMDA主催の公開フォーラムが2月28日、岡山県生涯学習センターで開催されました。

宮城県気仙沼復興商店街副理事長の坂本正人さんが、被災商店街と地域の復興の現状を説明し、被災地の状況に即した補助金の適切な運用の大切さを訴えました。



フリーディスカッションの様子

南海トラフ地震での大きな被害が想定される徳島県美波町役場の職員は「事前復興まちづくり」のユニークな取り組みについて言及。津波を恐れて若者が事前に引っ越す「震災前過疎」を食い止めるため、高地での住宅地開発プランを提示するなど古里の将来像を町民全体で共有するよう努めている現状を話しました。

フリーディスカッションでは東北商店街の代表ら12人が出席。出席者らは「震災地では郷土芸能の復活を通して住民が団結した」「顔の見える関係」が復興を支えた」と語るなど地域コミュニティの大切さと南海トラフ地震への備えの重要性を再確認しました。

## AMDA 東日本大震災復興支援活動を通じ 東北を支援されている団体様主催のイベント

### 倉敷を中心としたアーティストの方々によるチャリティオークション「第6回倉敷からの風2017」

2011年の地震発生を受けて、代表の杉田修一様を中心に作家仲間呼びかけ地震発生翌年の3月に第1回倉敷からの風が開催されました。

6回目となった今回も、3月7日から12日の日程で、50名の作家による作品約140点が出品されました。

参加される作家の皆様は、東北の方々に対して何かしたいという思いでこのチャリティを継続されています。



中心メンバーの3名  
左から、奥田様、杉田代表、唐澤様

### 備前焼チャリティー販売 from Bizen

2017年3月11日、備前焼作家による第7回備前焼チャリティー販売 from Bizenが岡山駅で行われ、今年も大盛況でした。



当日の設営・接客などを行った備前焼作家有志の皆様

50名以上の作家の方々が作品を出品され、売り上げは全てAMDA 東日本大震災復興支援活動と、子どもシェルターモモさんへのご寄付に充てていただきました。作品の搬入や、販売、撤収も全て有志の作家の皆様が行っています。

代表の原田良二様は、「備前焼を通じて何かしたいという想いで始まった。毎年イベント前にメールで呼びかけ、50名以上の作家が呼びかけに応じてくれる、これからも東日本へ想いを届けていきたい」と仰いました。

## 連載インタビュー「支える喜び」シリーズ 第12回

### 備前焼作家 原田 良二様

AMDA を支えてくださっている支援者の皆様に、インタビュー形式で様々なエピソードをお伺いしている「支える喜び」シリーズ。12回目となる今回は「東日本復興支援チャリティー from bizen」の代表として、長年にわたりAMDA をご支援してくださっている備前焼作家・原田良二さん（40歳）＝備前市伊部＝にお話を伺いました。

#### 被災地に今、できることを

**AMDA** 本日はお忙しい中、ありがとうございます。「東日本復興支援チャリティー from bizen」は大震災直後の2011年4月4日、JR岡山駅地下街で開催されました。

**原田** 当初は他の備前焼イベントを計画していましたが、東日本大震災が発生し、「備前の地より今、少しでもできることを…」との思いで、知人らにメールで協力を呼び掛け、若手を中心とした備前焼作家80人が作品を持ち寄った合計507点でチャリティー販売を開始したことがきっかけです。その後、回を重ね、今回で7回目となりましたが今も50人以上の作家が呼び掛けに応じて作品をチャリティーとして出品してくれます。また、商品の搬入や展示・販売も作家が有志で行っています。販売価格は皆さんが買い求めやすいよう、すべて500円、1,000円、1万円などの区切りの良い価格帯とし、市販より2～3割安くしました。支払いは募金箱に入れていただく形をとり、売上金の全額（一部経費を除く）をAMDAと子どもの自立支援を行っている団体に寄付しています。チャリティー販売は今後も継続し、当面は10回開催を目標にしています。



from bizen 事務局の3名。左から森敏彰副代表、原田良二代表、竹内千恵副代表



#### 同じ岡山の地で

**AMDA** 3回目からはAMDAにも大震災復興支援金として寄付をいただいています。温かいご支援は心強い励みとなっています。

**原田** AMDAは国際医療ボランティアとして30年以上にわたり、国内外を舞台に災害緊急支援やその後の復興支援に活躍されている。しかも、同じ岡山を拠点に活動しているのが嬉しい。郷土愛の気持ちをもって寄付を続けさせていただいています。

**AMDA** チャリティーは今年で7回目を迎えました。作品の販売を通して感じられたことがあれば教えてください。

**原田** 販売する作品には作家の名前と略歴を書いたしおりを木箱に入れ、購入いただいた方に親近感を持ってもらえるよう工夫しています。15歳前後の女性から「父の贈り物に」とビールカップを買ってもらったのがとても印象深いです。若者にもっと備前焼に関心を持っていただければと願っています。

**AMDA** 原田さんは大学卒業後、祖父や父親と一緒に備前焼を始め、18年目を迎えられました。備前焼の魅力は。

#### 奥深い備前焼制作

**原田** 作品は湯呑や皿、花器など生活雑貨が中心で、使いやすさを追求しています。さらに千年以上の備前焼の伝統を尊重したうえで、いかに自分らしさを出していくかがテーマです。土の配合や焼き方などを通して現代に合った形、色合いを工夫していきたい。経験を重ねるごとに備前焼の“奥深さ”を感じています。

**AMDA** 今日は貴重なお話をありがとうございました。一層の努力を重ねてまいります。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



(インタビュー内の敬称は省略させていただきました)

## インド・ブッダガヤにおける AMDA の活動

### ◆ AMDA ピースクリニック

仏陀が悟りを開いた地として有名なブッダガヤで 2009 年に AMDA ピースクリニックを開院。14 年に妊産婦と生後 2 カ月の乳児を対象とした母子保健サービスを提供する「母と子のクリニック」として再スタートを切りました。今年は 1 月下旬から 2 月中旬にかけて AMDA スタッフがインドを訪問。ピースクリニックのスタッフと一緒に妊産婦の家庭訪問、クリニック内の環境整備、医療資材の整理、カルテへの記入事項についての検討、健康教育に使用する教材作成などを行いました。

母子保健サービスの提供を始めて 4 年になる現在では対象地域の住民と現地看護師、スタッフとの間で信頼関係が構築され、住民が成長した赤ちゃんを抱いて挨拶に訪れたり、妊産婦でなくても身体の不調を訴える住民からの健康相談を受けることもあります。今後も現地での活動を継続的にフォローしていきます。



健康教育を行う AMDA ピースクリニックのスタッフ

### ◆ インド・ビハール州シュリプール村と Gaya 大学を視察

AMDA が活動しているブッダガヤにあるシュリプール村と、隣町にある Gaya 大学も視察しました。

シュリプール村は約 114 世帯 2000 人の人々が井戸から水を汲み、牛の糞とわらを混ぜたものを燃料として火をおこすなど昔ながらの生活をしていました。ここで AMDA ピースクリニックに以前勤務していたベータ氏が決して裕福ではない村の人から土地の提供を受け、身寄りのない人々を受け入れる施設「お年寄りの家」を設立して活動しています。この村で支援の可能性を探るべく視察に行きました。

Gaya 大学では、5 年前に日本に来られた Magadha University Gaya College of Islam の学長と再会し、現在行っているコミュニティ教育の視察をしました。AMDA は今後、Gaya 大学との連携を検討していきます。



シュリプール村の「お年寄りの家」に並ぶベッド

## フィリピン台風 26 号緊急支援活動



食糧支援物資を受け取る人たち

2016 年 12 月 25 日、台風 26 号がルソン島の南東にあるフィリピン・カタンドゥアネス島に上陸した後、ルソン島アルバイ州を通過し、大きな爪痕を残しました。

AMDA は現地協力者のフィリピン大統領府長官首席秘書官であるメルカド氏の紹介で、カタンドゥアネス州立大学と連絡を取り始めました。被災地域で食糧が不足しているとの報告を受けて支援物資の配布を決定。17 年 1 月 11 日にマニラ入りした AMDA 看護師は翌 12 日、カタンドゥアネス州立大学の学長、学部長と現地での活動について打ち合わせをしました。

食糧を購入し、13 日に被災が大きかった世帯を対象に、米やコーヒーなどを入れた袋を 1 セットとして計 500 世帯に配布しました。

家が全壊した男性は「これまでアバカという植物の葉を山から採取し、販売して生計を立てていたが、台風の影響で採れなくなった。食糧支援は本当にありがたい」と話していました。

■派遣者 岩本智子 / AMDA 看護師 (米国資格)

## 2017年1月～3月の動き

〈講演〉	内容	主催
1月29日	災害現場での救援活動について	岡山市鍼灸マッサージ会
2月3日	立志式記念講演	倉敷市立北中学校
2月3日	立志式記念講演	倉敷市立真備東中学校
2月9日	グローバル社会で活躍する人材となるために	岡山県立岡山操山中学校
2月10日	瀬戸大橋カントリークラブでの国際奉仕について考える勉強会	玉野ロータリークラブ
2月14日	東日本へ想いをつなげよう	おかやまコープ備北エリア
2月16日	AMDAの活動について	岡山市立西大寺南小学校
2月24日	AMDAの活動を知ること	岡山市立平津小学校
2月27日	東北支援、熊本支援の報告、現在の状況	おかやまコープ岡山東エリア
3月1日	国際貢献～今、自分たちにできること～	岡山市立石井小学校
3月15日	おでっくなんしえみちのく茶屋	おかやまコープ美作エリア
〈大学講義〉	内容	学校名
3月6日、7日、8日、9日	国際関係論（看護の国際協力）	福山市医師会看護専門学校
〈イベント開催および参加、協力〉	内容	
1月25日～29日	第60回洋蘭展	
2月4, 5日	ワン・ワールド・フェスティバル	
2月11日	ひょうご・こうべ・ワールド・ミーツ	
2月17日	東北の新月上映会+佐々木先生講演	
2月28日	東北三陸沿岸地域から学ぶ南海トラフ地震への備え 被災地間相互交流公開フォーラム	
3月7日～12日	倉敷からの風	
3月11日	備前焼チャリティーイベント from Bizen	
3月26日	第14回復興グルメF-1大会 in 南三陸ボランティアバス	
〈インターン〉		
2016年10月3日～2017年1月31日	野山貴弘	
2016年11月10日～2017年2月6日	キム・リャンヒョン	
〈AMDA 高校生会活動〉		
1月22日、2月19日、3月20日	定例会	

## 第60回洋蘭展 開催

岡山県洋蘭協会主催の「洋蘭展」が1月25日から5日間、総社市の農マル園芸で開かれ、会場を訪れた家族連れらはたくさんの華やかな洋蘭に一足早い春の訪れを感じていました。



会場内には AMDA チャリティーコーナーが設置され、会員の方々から提供された洋蘭を、お客様に購入していただき、売上金を AMDA に寄付してくださいました。

## 倉敷アカデミックウインズ第25回定期演奏会



2月19日の定期演奏会開演前のチャリティーアンサンブルにて、団員の方が楽しい衣装を身にまとい、歌ったり踊ったり、様々な演出にご来場の皆様もとても楽しんでいました。そこで集まった募金を AMDA にご寄付くださいました。本番では迫力ある息ピッタリの演奏を披露されました。

## しげい病院様と連携協定を結びました



3月16日の研修会にて、しげい病院の方々とともに

2月1日、医療法人創和会しげい病院様と大規模災害時に備えての連携協力協定を結びました。南海トラフ地震が発生した際には、お互いに連携を取りながら医療チームを派遣することになります。

そして3月16日、しげい病院の職員の方々を対象に、AMDA 職員が AMDA 南海トラフ災害対応プラットフォームについて説明しました。

しげい病院様は、発災直後から岡山県内や近接県など被災地の透析医療機関のバックアップを、第一の役割とされています。それに加えて、医療チームを高知県内に派遣くださり、避難所生活が長引く被災者の皆様の健康管理をお手伝いしたいとおっしゃっています。

## インターン紹介 キム・リャンヒョン

2017年1月10日から2月6日まで、約一ヶ月間 AMDA でインターンシップをした韓国国立ハンバッド大学4年生キム・リャンヒョンです。

最近韓国で前例のない大きな地震が相次いで起こりました。大きな地震の発生を予想していなかった災害対応機関では、様々な混乱が起こりました。私自身も、地震準備について深く考えるようになりました。AMDA は国内外で起こる災害の救援活動をしているので私にとって大切な経験になると思って志願しました。

会計・翻訳・イベント参加など、とても貴重な経験を積むことができました。また日本の災害対応につい

て勉強することができました。AMDA では地震発生の可能性が高いと予想される場所に、本当に地震が起こったらどうやって救援活動をするか事前に準備をしているのが印象的でした。

短い期間でしたが私の考えに大きな影響を与える経験でした。将来は、韓国で日本と共に地震などの災害対応に関わる仕事をしたいと思いました。



キムさんがAMDAパンフレット韓国語バージョンを作成しました!

多くの方々からご寄付をいただきました。一部を紹介します。



中野コロタイプ様



ストリートチャイルド支援実行委員会様



朝日塾幼稚園の皆様



廣榮堂様